

クリニカルパス通信



パスミニ用語集

このコーナーではパス用語解説集より基本的用語について抜き出して簡単に解説します

PDCAサイクルとは？

Plan(パスの作成) →
Do(実行) →
Check(評価) →
Act(見直し)
の4段階を繰り返すことによって、最初のパスの見直しを図る改善サイクル
医療の質の向上を図る

SDCAサイクルとは？

Standardize(標準化) →
Do(確実な実施) →
Check(評価・いつもと違う異常への気づき) →
Act(見直し・異常に対する適切な対応)
の4段階を繰り返し、現場における標準の維持定着を通して質保証する



医療現場で最初にパスを作成し、使用する段階でSDCAサイクルを回し、良い標準・質保証を図り、PDCAサイクルを回すことでより良い標準を決定し改善を図る!!

「クリニカルパスのメリット・デメリット」

メリット

標準化による医療費の削減！

退院までに必要な日数・薬品・検査・指示・看護計画や診療計画が入院前から準備でき、予定通りに行けば在院日数や医療費の削減につながります!!

業務効率の向上と患者さんの安全・安心

予定通りに検査や処置を受けて退院できるということは無駄がなく、患者さんにとっても医療従事者にとってもメリットです！

デメリット

クリニカルパスは治療方法などの変化に伴い更新していかなければいけません！

クリニカルパス適用率とは？

標準化された医療が「見える化」された状態でどれほど提供されているかを示す指標

クリニカルパス適用件数

$\frac{\text{新入院患者数}}{\text{新入院患者数}} \times 100 (\%)$



「目指せ 400 件！」



現在運用中のパスは 310 個
(6月30日時点・多い順)

外科・呼吸器外科	147
整形外科	83
小児科	22
看護部	17
形成外科	15
眼科	11
婦人科	6
泌尿器科	4
内科	2
脳神経外科	1
循環器内科	1
耳鼻咽喉科	1

新パス紹介 (1~3月承認分)

外科・呼吸器外科

- ★大腸EMR 2泊3日
- ★肛門ポリープ切除術 (前日入院)
- ★超音波内視鏡EUS (前日入院)
- ★腹部外傷TAE後
- ★軽症虫垂炎手術 (前日入院)

小児科

- ★上肢骨内異物除去術
- ★骨髓検査
- ★骨髓採取
- ★髄腔内注射
- ★免疫性血小板減少性紫斑病 (PSLあり)
- ★免疫性血小板減少性紫斑病 (PSLなし)
- ★IgA血管炎 (PSLあり)
- ★IgA血管炎 (PSLなし)

眼科

- ★瞳孔形成術 (当日入院1泊2日)
- ★瞳孔形成術 (2泊3日)



2022年1月~3月
全体適用率
49.8%

【2022年1~3月パス適用率】

